

令和3年度早良ひまわりハウス事業報告

【事業概要】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防に注力し、一人ひとりの年齢や特性に配慮し、援助を適切かつ効果的に支援することを重視して取り組みました。2月に利用者2名、職員2名、新型コロナウイルスに感染される事がありました。が、感染拡大防止に努め、皆様にも居室で過ごして頂いたり、在宅ワーク等にご協力頂き、2週間程で収束し拡大する事はありませんでした。

利用者の平均年齢が55歳と高く、2名の方が体調を崩して1～2週間程入院される事がありました。

新しい取り組みとして、在宅診療を導入致しました。ご家族の高齢化や単独での受診が難しい方等、現在3名の方を対象として月に2度往診を受けています。

短期入所については、感染状況を見ながら1床対応として徐々に再開をしていきました。冬季に入り、ご家族の入院による受け入れケースが続きました。

既存のグループホームは引き続き巡回事業所と連携して安定した生活の維持に努めました。

特定相談事業所は、徐々に対面式の面談を再開し、先方のご都合等に合わせ、電話やオンライン形式で実施しました。

以下、項目ごとにご報告いたします。

1 利用者の状況

項目	内容
定員（実利用）	15名（15名）
男女別	男性：8名 女性：7名
平均年齢	55歳（男性 55.8 女性 55.7）
障害の程度	A1（3名）A2（6名）A3（2名）B1（3名）B2（1名）
支援区分 平均	1（1名）3（2名）4（5名）5（5名）6（2名） なし（0名） 4.2

2 職員の状況

管理者 1名 サービス管理責任者 1名
常勤職員 7名 パート職員 1名 夜勤職員 7名（シフト制）
世話人 3名（委託契約）

3 サービス支援業務の実施状況（共同生活援助事業）

日常生活支援

入居者の皆さんの各自の自立度に合わせて大きく3段階に分けて支援を行っています。

- ① 自身で全行程行える場合は、職員は確認程度の支援。
- ② 力を発揮出来るところは行ってもらい職員が補完、支援行う。
- ③ 自身で行えない場合は職員が支援する。

（1）食事支援

材料は、業者による宅配を利用し、世話人が調理を行っています。

一口大や刻み等身体面への配慮も行っています。

メニューについては、業者側の栄養士がカロリーや栄養計算したものです。入居者の誕生日や季節メニューを企画したり、イベント開催時にオリジナルメニューを提供しています。

加齢とともに嚥下機能が落ちていると思われる方が散見され始めました。医療機関と連携を取って対応しています。

（2）入浴支援

毎日入浴してもらうようにしています。障がい特性に配慮した入浴方法で支援しています。また、皮膚疾患の感染予防のため、浴室清掃、足ふきマット等はこまめに清掃、取り換えを行っています。転倒の恐れがある方には、浴室用介護チェアなどの介護用品の利用も行い、安全に配慮しながら支援を行っています。

（3）排泄支援

部分的、全面的介助を必要とする方が複数入居されており、身障者用トイレを使用しての介助を行っています。排便の間隔があいている方については職員間の連絡引継ぎ支援が途切れないよう配慮しています。

（4）健康に関する支援

毎朝、血圧検温測定を行いバイタルチェックで常に体調把握を行っています。体調不良時には保護者、事業所に連絡を取り状況によっては、通院などの対応をとっています。

また、服薬について家族、医療機関と連携をとり投薬管理を常時行っています。

(5) 衣類に関する支援

衣類着脱で支援を要する方が2名、季節に合わせた服装をすることが苦手な方が複数おられ、支援員と話し合いながら都度調整しています。

(6) 夜間支援

夜間（19:45～7:45）は、夜間専門職員により定時巡回や介助を行っています。ハウス1には主に看護師免許有資格者を配置しています。

4 短期入所事業

(1) 利用状況

月	利用者数 (人)	延利用日数	月	利用者数 (人)	延利用者日数
4月	2	57	10月	1	4
5月	1	3	11月	3	9
6月	0	0	12月	4	9
7月	0	0	1月	3	34
8月	1	5	2月	3	43
9月	0	0	3月	2	25

(2) 利用内容

感染対策として1床受け入れ対応とし、もう1床については、感染状況をみながら緊急時（ご家族の入院、レスパイト、冠婚葬祭等）に受け入れ対応として実施しました。令和4年1月頃より、ご家族の入院ケースによる受け入れが5件ありました。2月にグループホーム内での新型コロナウイルス感染者が出た為、短期入所利用の方にも在宅ワーク対応等、ご協力をいただきました。

5 その他の取り組み

(1) 運営協議会

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止しておりましたが、6月、11月に開催する事が出来ました。早良ひまわりハウスを知って頂く事、地域の方々と顔の見える関係性作りに努めています。

(2) 地域との関わりについて

前年度同様、地域の夏祭りが中止となり参加できませんでしたが、人権フェスタはパネル展示の形式で参加しております。地域の各行事が軒並み中止となり、交流が厳しいものとなりました。

(3) 防災・防犯について

これまでの火災避難訓練に加え、地震、水害の避難訓練を実施し、入居者の方への避難行動の習慣化と意識付けを行いました。防災・リスク委員会を通し、BCP 計画の作成や、防犯マニュアルの整備等を行っております。

(4) グループホーム（外部サービス利用型）のバックアップ

2か所（今宿東、壱岐団地）各グループホーム巡回担当事業所との連携による状況把握や入居者や世話人からの要望などへの対応などを行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各物品準備と機材設置、健康状態共有をより密に実施しました。第2ひまわりハウス（皿山）については、7月31日をもって休所としております。

(5) 職員研修について

オンライン研修が中心となりましたが、職員の階層や、啓発心を確認しながら様々な研修へと参加しています。

(6) 苦情受付状況

令和3年度は、地域住民及び関係者からの苦情はありませんでした。次年度も入居者の方の快適な生活環境作りに努めていきます。

(7) 休日余暇

感染拡大防止の為、外出での休日余暇は近隣の散策以外は実施できませんでした。室内で3密を避けつつ、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、節分を実施しています。

(8) グループホーム検討会議

福岡ひまわりの里移転後、同敷地に開設予定であるグループホームについて、早良ひまわりハウス内で検討チームを作り、他事業所見学や、意見交換をしながら、今後の検討のために情報を集めております。

6 特定相談支援事業

(1) 計画作成とモニタリングの実施と請求数

月	モニタ件数	計画件数	月	モニタ件数	計画件数
4 月	23	19	10 月	34	14
5 月	19	15	11 月	14	15
6 月	17	16	12 月	25	18
7 月	25	11	1 月	24	13
8 月	30	15	2 月	38	8
9 月	35	17	3 月	34	33

(2) 受け入れ状況

専従の相談支援専門員 2 名を配置して知的障がい児・者の計画相談及びモニタリング・担当国会議を行っています。傾向として年度末にかけて計画作成数が集中しています。また、各区の基幹相談支援センターと連携（支援会議の参加）を図りながら、業務を行っています。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染状況をみながら徐々に対面式の対応を再開し、状況により電話対応や、オンライン形式の面談も試験的に実施しております。